【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和1年11月7日(2019.11.7)

【公開番号】特開2018-107389(P2018-107389A)
【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)
【年通号数】公開・登録公報2018-025
【出願番号】特願2016-255273(P2016-255273)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｋ　1/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｋ　1/14　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和1年9月27日(2019.9.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
貫通孔が配置されている第１プリント基板と、
前記貫通孔に挿入されている挿入部を含む第２プリント基板とを備え、
前記貫通孔は、前記第１プリント基板を平面視したときに、第１方向に沿って延びるように配置されている第１孔部と、前記第１孔部と連なりかつ前記第１方向と交差する第２方向の幅が前記第１孔部の前記第２方向の幅よりも広い第２孔部とを含み、
前記貫通孔の前記第１方向の幅は、前記挿入部の前記第１方向の幅よりも広く、
前記第１プリント基板は、前記第２孔部の内周面を構成している第１配線パターンを含み、
前記第２プリント基板の前記挿入部は、前記第２孔部内に挿入されている第２挿入部分に形成されている第２配線パターンを含み、
前記第２配線パターンの前記第１方向の幅は、前記第２孔部の前記第１方向の幅よりも狭く、
前記第２挿入部分の前記第２方向の幅は、前記第１孔部の前記第２方向の幅よりも広く、さらに、
前記第１配線パターンと前記第２配線パターンとを接合する導電性接合部材を備える、プリント基板接合体。
【請求項２】
前記第２配線パターンと前記第２配線パターンに対し前記第１方向の一方の側に位置する前記第２孔部の前記内周面との間の前記第１方向の最短距離を第１距離とし、
前記第２配線パターンと前記第２配線パターンに対し前記第１方向の他方の側に位置する前記第２孔部の前記内周面との間の前記第１方向の最短距離を第２距離とし、
前記第１距離と前記第２距離との和は、前記第２配線パターンの前記第１方向の幅以下である、請求項１に記載のプリント基板接合体。
【請求項３】
前記貫通孔の前記第２方向の幅は、前記挿入部の前記第２方向の幅よりも広く、
前記第２挿入部分と前記第２挿入部分に対し前記第２方向の一方の側に位置する前記第２孔部の前記内周面との間の前記第２方向の最短距離を第３距離とし、
前記第２挿入部分と前記第２挿入部分に対し前記第２方向の他方の側に位置する前記第

２孔部の前記内周面との間の前記第２方向の最短距離を第４距離とし、
　前記第３距離と前記第４距離との和は、前記第１孔部の前記第２方向の幅と前記挿入部の前記第１孔部に挿入されている第１挿入部分の前記第２方向の幅との差よりも、小さい、請求項１または請求項２に記載のプリント基板接合体。
【請求項４】
　前記第１配線パターンと前記第２配線パターンとは前記導電性接合部材を介して接合されている、請求項１～３のいずれか１項に記載のプリント基板接合体。
【請求項５】
　前記第２孔部の前記第１方向の幅が前記第２孔部の前記第２方向の幅よりも広い、請求項１～４のいずれか１項に記載のプリント基板接合体。
【請求項６】
　前記第１プリント基板を平面視したときに、前記第２配線パターンの前記第１方向の中心を通り前記第２方向に延びる中心線は、前記第２孔部の前記第１方向の中心を通り前記第２方向に延びる中心線と重なるように配置されている、請求項１～５のいずれか１項に記載のプリント基板接合体。